



2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 ショーボンドホールディングス株式会社
 コード番号 1414 URL <http://www.sho-bondhd.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸本 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 関口 恭裕 TEL 03-6892-7101
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 2021年3月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績（2020年7月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	40,002	29.6	7,675	30.1	7,998	33.2	5,473	35.6
2020年6月期第2四半期	30,871	4.2	5,897	5.0	6,002	3.9	4,037	4.4

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 5,762百万円 (22.6%) 2020年6月期第2四半期 4,700百万円 (56.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	101.69	—
2020年6月期第2四半期	75.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	106,273	87,032	81.8
2020年6月期	102,667	83,617	81.4

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 86,978百万円 2020年6月期 83,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	35.00	—	44.50	79.50
2021年6月期	—	40.00	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	—	—	55.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想については、本日（2021年2月10日）公表の「通期連結業績予想の修正および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,500	14.7	14,600	12.9	15,100	11.8	10,200	13.3	189.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想については、本日（2021年2月10日）公表の「通期連結業績予想の修正および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期2Q	56,745,180株	2020年6月期	56,745,180株
② 期末自己株式数	2021年6月期2Q	2,917,290株	2020年6月期	2,917,126株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期2Q	53,827,986株	2020年6月期2Q	53,828,225株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は当社ウェブサイトにて同日に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年7月1日～2020年12月31日)における当社グループの連結業績につきましては、受注高は、前第1四半期において阪神高速道路株式会社から受注した大型工事を含め四半期ベースでは過去最高の受注高を計上したため、その反動減で第1四半期の受注高は33.9%減少しましたが、第2四半期に高速道路会社からの受注が堅調に積み上がったことで、前年同期比4,294百万円減少(10.1%減)の38,290百万円となりました。売上高は、過去最高の受注残高でスタートし、第1四半期に引き続き、第2四半期も工事の施工が順調に進捗したことで前年同期比9,131百万円増加(29.6%増)の40,002百万円となり、上半期として過去最高の売上高を計上しました。受注残高は、上半期に高水準の売上高を計上したことで、前期末より1,711百万円減少しましたが、前年同期比では3,419百万円増加(5.2%増)の69,235百万円となりました。

利益につきましては、売上高の増加に伴い売上総利益が大幅に増加し、営業利益は前年同期比1,778百万円増加(30.1%増)の7,675百万円、経常利益は前年同期比1,995百万円増加(33.2%増)の7,998百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1,436百万円増加(35.6%増)の5,473百万円となりました。売上高、利益とも上半期では過去最高の業績となり、前年同期比で増収増益の結果となりました。

各セグメントにおける、受注実績、売上実績、及び受注残高は次のとおりです。(各実績は外部顧客に対するものを記載しています。)

受注実績

(単位：百万円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
国内建設	40,979	36,823 (△10.1%)
その他	1,605	1,467 (△8.6%)
合計	42,585	38,290 (△10.1%)

(注) 表中の百分率は、対前年同期増減率

売上実績

(単位：百万円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
国内建設	29,265	38,535 (31.7%)
その他	1,605	1,467 (△8.6%)
合計	30,871	40,002 (29.6%)

(注) 表中の百分率は、対前年同期増減率

受注残高

(単位：百万円)

区分	前第2四半期連結会計期間末 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2020年12月31日)
国内建設	65,815	69,235 (5.2%)
その他	—	— (—%)
合計	65,815	69,235 (5.2%)

(注) 表中の百分率は、対前年同期増減率

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より3,606百万円増加し、106,273百万円となりました。これは、仕入債務、未払法人税等、配当金の支払により現金預金が減少した一方で、工事の大型化により受取手形・完成工事未収入金等が増加したためです。

負債は、前連結会計年度末より191百万円増加し、19,241百万円となりました。これは未成工事受入金が減少した一方で、賞与引当金が増加したためです。

純資産は、前連結会計年度末より3,415百万円増加し、87,032百万円となりました。これは、配当金の支払を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ2020年8月11日に公表した2021年6月期通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては本日(2021年2月10日)公表の「通期連結業績予想の修正および期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	27,395	14,273
受取手形・完成工事未収入金等	36,094	49,683
有価証券	2,703	7,904
未成工事支出金	36	109
その他のたな卸資産	975	946
その他	2,019	1,116
貸倒引当金	△19	△18
流動資産合計	69,206	74,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,838	3,195
機械装置及び運搬具(純額)	206	187
工具、器具及び備品(純額)	208	188
土地	8,643	8,637
リース資産(純額)	61	53
建設仮勘定	177	423
有形固定資産合計	12,134	12,684
無形固定資産		
のれん	623	574
その他	94	87
無形固定資産合計	718	661
投資その他の資産		
投資有価証券	16,944	14,973
退職給付に係る資産	630	656
繰延税金資産	585	825
土地再評価に係る繰延税金資産	747	747
その他	1,716	1,724
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	20,608	18,912
固定資産合計	33,461	32,258
資産合計	102,667	106,273

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,514	5,924
電子記録債務	3,679	3,468
未払法人税等	2,847	2,746
未成工事受入金	1,821	816
賞与引当金	—	1,578
役員賞与引当金	273	—
完成工事補償引当金	282	313
工事損失引当金	104	155
その他	2,948	2,628
流動負債合計	17,471	17,631
固定負債		
完成工事補償引当金	387	378
役員退職慰労引当金	14	17
退職給付に係る負債	1,086	1,131
その他	89	83
固定負債合計	1,578	1,609
負債合計	19,050	19,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	34,762	34,762
利益剰余金	46,289	49,367
自己株式	△2,503	△2,503
株主資本合計	83,548	86,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,835	2,144
土地再評価差額金	△1,693	△1,693
為替換算調整勘定	△14	△23
退職給付に係る調整累計額	△76	△75
その他の包括利益累計額合計	51	352
非支配株主持分	17	53
純資産合計	83,617	87,032
負債純資産合計	102,667	106,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	30,871	40,002
売上原価	23,092	30,132
売上総利益	7,778	9,869
販売費及び一般管理費	1,880	2,194
営業利益	5,897	7,675
営業外収益		
受取利息	33	22
受取配当金	74	63
受取保険金	9	190
受取賃貸料	52	79
その他	9	16
営業外収益合計	180	372
営業外費用		
支払手数料	10	10
賃貸費用	34	27
事故関連損失	23	—
その他	6	11
営業外費用合計	75	49
経常利益	6,002	7,998
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	23	—
特別利益合計	23	3
特別損失		
完成工事修補費用	93	100
投資有価証券売却損	—	16
投資有価証券評価損	—	14
その他	3	1
特別損失合計	96	133
税金等調整前四半期純利益	5,929	7,868
法人税、住民税及び事業税	1,834	2,783
法人税等調整額	70	△376
法人税等合計	1,905	2,406
四半期純利益	4,023	5,461
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,037	5,473

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	4,023	5,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	619	308
為替換算調整勘定	1	△9
退職給付に係る調整額	55	0
その他の包括利益合計	676	300
四半期包括利益	4,700	5,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,713	5,774
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	△12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,929	7,868
減価償却費	207	200
のれん償却額	49	49
固定資産売却損益(△は益)	△0	△3
投資有価証券評価損益(△は益)	—	14
投資有価証券売却損益(△は益)	△23	16
賞与引当金の増減額(△は減少)	146	1,578
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△306	△273
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△22	△26
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	44
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	30	21
工事損失引当金の増減額(△は減少)	17	51
受取利息及び受取配当金	△108	△85
売上債権の増減額(△は増加)	△8,474	△13,593
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△51	△73
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	91	66
その他の資産の増減額(△は増加)	46	36
仕入債務の増減額(△は減少)	△204	197
未成工事受入金の増減額(△は減少)	320	△1,004
その他の負債の増減額(△は減少)	△2,773	△872
その他	73	12
小計	△5,063	△5,774
利息及び配当金の受取額	132	107
法人税等の支払額	△1,741	△1,815
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,671	△7,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	2,000	—
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△16,298	△9,516
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	21,421	10,483
有形固定資産の取得による支出	△73	△367
有形固定資産の売却による収入	0	10
その他	△7	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,042	518
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1	△8
配当金の支払額	△2,283	△2,392
非支配株主からの払込みによる収入	—	49
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,285	△2,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,914	△9,322
現金及び現金同等物の期首残高	10,256	27,395
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,341	18,073

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

偶発債務

前連結会計年度（2020年6月30日）

2016年6月期において当社の子会社であるショーボンド建設株式会社及びその子会社が施工した橋梁補修工事で使用した落橋防止装置の部材に一部溶接不良があることが判明し、調査及び修補に伴う費用のうち当連結会計年度に発生した費用265百万円を完成工事修補費用として特別損失に計上しています。

また、将来発生が合理的に見込まれる調査、修補費用として完成工事補償引当金に計上した金額は、当連結会計年度末において、流動負債234百万円、固定負債387百万円となっております。

一方、製造に起因する不良が判明した場合、その調査・修補費用については製造会社に求償することとしており、製造会社からの回収の都度、特別利益に計上する予定です。

しかしながら、今後数年間調査の過程で新たに修補費用が発生する可能性があり、また製造会社からの回収状況により、連結業績に影響が生じる可能性があります。その時期及び総額については現時点では合理的に見積もることが出来ないため、その影響を連結財務諸表に反映していません。

当第2四半期連結会計期間（2020年12月31日）

2016年6月期において当社の子会社であるショーボンド建設株式会社及びその子会社が施工した橋梁補修工事で使用した落橋防止装置の部材に一部溶接不良があることが判明し、調査及び修補に伴う費用のうち当第2四半期連結累計期間に発生した費用100百万円を完成工事修補費用として特別損失に計上しています。

また、将来発生が合理的に見込まれる調査、修補費用として完成工事補償引当金に計上した金額は、当第2四半期連結会計期間末において、流動負債259百万円、固定負債378百万円となっております。

一方、製造に起因する不良が判明した場合、その調査・修補費用については製造会社に求償することとしており、製造会社からの回収の都度、特別利益に計上する予定です。

しかしながら、今後数年間調査の過程で新たに修補費用が発生する可能性があり、また製造会社からの回収状況により、連結業績に影響が生じる可能性があります。その時期及び総額については現時点では合理的に見積もることが出来ないため、その影響を四半期連結財務諸表に反映していません。

（四半期連結損益計算書に関する注記）

（事故関連損失）

前第2四半期連結累計期間（自 2019年7月1日 至 2019年12月31日）

当社子会社のショーボンド建設株式会社が施工する東名高速道路の橋梁補修工事で、2019年11月21日に発生した火災事故に伴う損失見込額（足場の撤去、現場の復旧等）のうち、前第2四半期連結累計期間に発生した損失額23百万円を営業外費用に計上しております。

（受取保険金）

当第2四半期連結累計期間（自 2020年7月1日 至 2020年12月31日）

受取保険金には当社子会社のショーボンド建設株式会社が施工する東名高速道路の橋梁補修工事で、2019年11月に発生した火災事故に係る保険金の受取額177百万円が含まれております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年7月1日 至 2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	29,265	1,605	30,871	—	30,871
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	832	834	△834	—
計	29,267	2,438	31,705	△834	30,871
セグメント利益	5,407	477	5,884	12	5,897

(注) 1 「その他」には、海外建設、製品製造販売業、海外製品販売業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次のとおりです。

（単位：百万円）

	金額
セグメント間取引消去によるもの	128
セグメントに配分していない全社費用（注）	△112
その他の調整額	△3
計	12

(注) グループ全体の経営管理に係る一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年12月31日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	38,535	1,467	40,002	—	40,002
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1,075	1,075	△1,075	—
計	38,535	2,542	41,078	△1,075	40,002
セグメント利益	7,315	350	7,665	9	7,675

- (注) 1 「その他」には、海外建設、製品製造販売業、海外製品販売業を含んでいます。
 2 セグメント利益の調整額の内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	金額
セグメント間取引消去によるもの	157
セグメントに配分していない全社費用(注)	△146
その他の調整額	△0
計	9

- (注) グループ全体の経営管理に係る一般管理費です。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。